

チャペル週報

No.1

2020.4.21~4.24

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

(ヨハネによる福音書 1 章 1 節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

チャペルへの招き

嶺重 淑

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、入学式が中止になっただけでなく、春学期の授業も通常の形で始められないという異例な形でのスタートとなりましたが、これから始まる学生生活をぜひ充実したものにしていってください。そしてそのためにも、勉学であれ課外活動であれ、在学中に打ち込んでいくテーマを速やかに見つけてください。さらにもう一つ、せっかく縁があってこの大学に入学したのですから、自分が通う大学の特質についても知っておいてほしいと思います。

さて、関西学院を特徴づけている重要な要素として「キリスト教主義教育」が挙げられますが、これをもっとも象徴的に示しているのが、通常は第一時限と第二時限の間に実施されるチャペルアワーです。もちろん、キリスト教主義を掲げる大学は日本にも数多く存在し、それらの大学においても同様の時間をもたれています。しかし、大学の各学部で同一の時間帯に並行してチャペルアワーが守られているような大学は関学をおいて他にないように思います。

チャペル（礼拝）というと、「堅苦しくて退屈そう」というイメージがあり、抵抗を感じる人も少なくないと思いますが、このチャペルアワーは、キリスト教信者を対象とする教会の礼拝とは異なり、これまでほとんどキリスト教と接したことがない一般学生を対象にしています。内容的にも、いわゆる宗教儀式として行われるのではなく、むしろ日常の慌ただしさからしばし解放され、自分自身を見つめ直すひと時をもってもらおうという主旨で行っています。チャペルでの講話（奨励）も、狭い意味でのキリスト教の内容に限定されず、講話者の人生論や体験談等様々であり、その他、様々な音楽団体による演奏や、様々な活動を実践している方々の活動報告等を聞く機会も多くもっています。

今年度は残念ながら、当面の間、通常のチャペルアワーを実施することはできませんが、各学部で、また宗教センターから定期的にメッセージを発信しています。ぜひそのメッセージを受け取って、関西学院をより身近なものに感じていただければと思います。

(宗教総主事・人間福祉学部教授)

雨でも、雪でも、咲いている花

田 禾

いつもならドキドキ、わくわくで4月の新しい学期を迎えるのに、今年度はほとんどの方が不安な気持ちを持っておられるのではないのでしょうか。先日、久しぶりに研究室に入ったところ、60枚のマスクが机の上に置いてありました。「マスク！」それは以前教えた学生からのプレゼントだったのです。教員としての幸福感にひたり、感無量でした。

新型コロナウイルス感染症は2月に中国でひどくなり、マスクの生産も間に合わない状態の中、武漢へ寄付された日本からの支援物資の箱に書かれた一文が中国の人々の注目を集めました。「山川異域 風月同天」。大学の近くにある廣田神社はこの一文を「三月の言葉」として選び、「これは約千三百年前、鑑真を招聘するため長屋王が袈裟千枚に刺繍して贈った詩の一節で、『山河は違えど同じ風が吹き、同じ月を見ている仲ではありませんか。』という意味」と丁寧な解説付きでした。この詩に心動かされた鑑真は自ら日本行を決心したとのこと。武漢の人々もまた、日本がこの詩を通じて連帯の姿勢を示してくれたことに深く感謝したということです。

武漢だけではなく、中国のほかの都市の人々もこの友情を大切にし、日本が大変な状況になった時、「青山一道 同担風雨」という唐の詩人王昌齡の詩を書いた段ボール箱と共に、中国からの支援マスクが日本に送られて来ました。日中両国一緒に戦いましょうとの気持ちを表すマスクは、国際協力のシンボリック的存在となったわけです。

日本では町中マスクを着用する人の姿を見るのはごく普通で、マスクの重要性についてみんな理解していますが、2月にアメリカにいる友人から「マスクを付けていたせいで、嫌われた」との話を聞いて、驚きました。マスクというものを通して、文化の異なり、他人への理解と尊重、そして国際協力、経済能力等様々な分野における違いが垣間見られることも興味深いと思います。

さて授業はどうする？マスクを着用する？しない？外国語の勉強は発音を練習しないと、でも、などなど迷っているというのが正直なところ。春が来たら花が咲くと同様に、どんな困難があっても、いい結果に向かって、頑張りましょう！

(経済学部教授)

●関西学院大学チャペル動画（オンデマンド）配信開始

関西学院大学では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面の間、チャペル実施を見合わせております。そこで、各学部宗教主事、宣教師、神学部教員のご協力をいただきながら、チャペル動画配信を行うことといたしました。このような中、聖書の言葉に耳を傾けていただければと思います。

チャンネル <https://www.youtube.com/channel/UCNIjhUyBcxy-srch5PjtgLw/>

（授業期間中、月曜日と木曜日に更新）

●「関西学院イースター礼拝」メッセージ動画配信のご案内

関西学院では例年4月の第三水曜日にイースター礼拝を開催しています。今年は動画配信でメッセージをお届けいたします。どうぞご覧ください。

チャンネル <https://youtu.be/NfMedkK7E1M>

（4月22日から4月28日まで配信）

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しています。今学期の募集は新型コロナウイルス感染症拡大を受けて中止となりました。改めて秋学期に募集する予定です。チャペルオルガニストについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

電話：0798-54-6018

E-mail：organist@kwansei.ac.jp

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝中止のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日（原則）の10:00～11:00に関西学院会館ベーツチャペルで行ってりました礼拝を当面中止します。

●CD・DVDライブラリー利用中止のご案内

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますが、当面利用を中止します。

<キャンパス内立ち入り禁止措置が解除されるまでお待ちください>

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会（JOC S）切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としておりますのでどうぞ吉岡記念館事務室へ郵送でお届けください。

送付先：〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。<募金のご持参は、キャンパス内立ち入り禁止措置が解除されるまでお待ちください>

●「チャペル週報」について

当刊行物およびバックナンバーは下記で閲覧できます。

URL：https://www.kwansei.ac.jp/c_christian/c_christian_001157.html

記載の催しは、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により延期もしくは中止の可能性もあります